

復活節第3主日 聖餐礼拝

2019年5月5日 第一礼拝(午前8:00~) 聖餐礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

前奏	(新聖歌41)		
聖餐の招詞	司会者	
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	—	同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」(新聖歌921頁)	—	同
祈禱	司会者	
分餐	(新聖歌53)	—	同
感謝の賛美	新聖歌299「山辺に向かいてわれ」	—	同
聖書朗読	『詩篇』139篇1-12節(旧約1046頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「闇が闇でなくなる日」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌330「幸い薄く見ゆる日に」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	横堀 正美兄	
諸報告	司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父 御子 御霊の」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)
(機械演奏の場合、楽譜にない表現をする事もあります)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	聖餐準備：笹川 清子姉 配餐：片山 健司兄
司集	会：近伸之牧師 会：長谷川睦子姉 (山岸あけみ姉)	映像・音響：片山 浩司兄 聖餐時配餐：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤 繁実兄 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

- 詩篇139篇は、まず神の全知性(すべてを知っておられる)について教えている。人は想定外の出来事にすぐオタオタするが、神はすべてを見通しておられる。だからこそ神に信頼するものはあわてることがない。
- 神がすべてを知っておられるがゆえに、人間は神の前に何も隠すことができない。たとえ自分の中が真っ黒であっても、取り繕う意味もない。素っ裸の罪人であるにもかかわらず、神は私たちを愛しておられる。
- 「闇もあなたに比べれば闇とは言えない」(139:12、新共同訳)。神の光は、闇を容赦なく切り捨てていくものではなく、闇さえも優しく包み込む。そうでなければ罪人である私たちは排除されるしかない。神の光は、闇であるのに光と誤解している、人間の傲慢を気づかせ、さらにイエス・キリストによる信仰へと進ませる。

今週の暗唱聖句

「あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行くのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになります」(『使徒の働き』1章11節)

[敬和学園の学生用] 牧師のサイン欄 ()

個人、団体からの来信

2019年5月5日

北新潟キリスト教会より「日本キリスト教史と聖書の学び」開催案内[5月12日(日)午後2時より] / 「松丸嘉也・美香宣教師を支える会」より松丸ファミリーニューズレター「MATSU-MAIL」Vol.20 No.0

先週の集会出席者数

4/28(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性- 幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性1		
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回、書道教室を開催	
	第二礼拝(子ども)	男14 女23 男児1 女児5	4/29(月・祝) 月曜家庭集会 (休会) 5/1(水・祝) パルナバ祈禱会 男5(求1) 女4	
	夕拝	男2(求1) 女1	5/3(金・祝) しゃべり場夕ピタ (休会)	
			5/3(金・祝) 金曜祈禱会 男1 女5	

諸集会のご案内

書道教室	※月に一回、書道教室を開催		
月曜家庭集会	5/6(月・振)	(休会)	
ネヘミヤ祈禱会	5/8(水)午後7:30	『詩篇』142篇	司会：片山 初子姉
しゃべり場夕ピタ	5/10(金)午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：長谷川睦子姉
金曜祈禱会	5/10(金)午後8:00	教会堂	

5/12(日) 復活節第4主日

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：近伸之牧師		
第二礼拝 午前10:30	司会：伊東 一馬兄 集会：山岸あけみ姉 (横堀 信子姉)	映像・音響：山崎 敬典兄 説教の録画：片山 浩司兄	感謝祈禱：渡邊 智子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	5/5[佐藤兄] 5/12[近牧師] 5/19[片山姉] 5/26[佐藤兄] 6/2[片山姉]		
掃除当番順	5/5[佐藤姉] 5/12[長谷川姉] 5/19[山岸姉] 5/26[横堀姉] 6/2[渡邊姉]		
主日の予定	礼拝後に、グループでの分かち合い ※16:00より新潟ランチョンの聖歌隊練習		
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教	礼拝箇所 『詩篇』139篇13-24節	

報告

- 本日の予定
聖餐礼拝の恵みを感謝します。みことばの恵みをかみしめて歩みましょう。礼拝後は昼食をいただき、CS教師会や定例役員会などを行います。また有志にて草むしりをします。ご協力をお願いします。
- 宣教区のため
明日、万代市民会館にて新潟山形宣教区会議および宣教区懇談会が行われます。当教会より近牧師と伊東一馬兄が午前の会議に出席する予定です。議事進行が守られるようにお祈りください。
- 先週の来会者
4月28日(日)主日礼拝に小早川珠穂さん(敬和高1年)、渡邊瑠梨香さん(敬和高1年)、富樫綾子姉、河口典子姉、後藤一志兄が出席されました。感謝します。
-

小学校一年生の少年の詩です。

うらの庭をほって見た。

すると、せみのもぞもぞが出てきた。

「あっ、生きてる！」

この詩の良さのひとつとして挙げられていたのは、感動がある、ということでした。せみのもぞもぞ、おそらく幼虫でしょう。じっと見ていると、ピクッと動いたのでしょうか。「あっ、生きてる！」と叫んだというわけです。

ところで、私たちの一日が生きていくという感動で始まり、生きたという感動で終わることができたとしたら、なんと充実した日々となるのでしょうか。生きると言えば、リチャード・バックの『カモメのジョナサン』の映画を思い出します。一羽のカモメを主人公に描いた作品です。この映画について、映画評論家の故・淀川長治さんが講演されていました。

カモメのジョナサンは、高く飛ぶこと、速く飛ぶことを生きがいとしていました。かと思えば、突き刺すように水中に急降下して魚を捕る。その日も、大空高く、悠々と飛翔するジョナサンをカメラが追います。ところが、いつものように海中に突っ込んだジョナサン

は、流れてきた木切れにイヤというほど強く羽を打ちつけてしまいます。白い羽は鮮血で真っ赤に染まりました。

だれが見ても、もうダメだ、これで終わりだ、というシーンです。しかし、ジョナサンは流れてきた木切れに渾身の力をふりしぼってつかまり、立ち上がります。やがて、痛々しく広げた羽に一陣の風が吹き、体がふわりと浮き上がります。そして、傷つきながらも、上昇気流に乗って再び舞い上がったのです。

淀川さんはその講演で、神が私たちにくださった命は、もうダメだと思われるような所から這い上がり、立ち上がることのできる命だ、と言っておられました。イエス・キリストはこう言われます。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです」(ヨハネ11:25)

キリストが与える命、それは、永遠に生きる命です。それはまた同時に、ダメだという所から立ち上がらせる命なのです。あなたも、この命に躍動して、この一日を力強く生きることができると。

闇もあなたに比べれば闇とは言えない。
夜も昼も共に光を放ち
闇も、光も、変わるところがない。

(詩篇139:12 新共同訳)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でん世の光』025(272)3592



5/11(土)「幸せをつかむための心理学」 榎井真史さん

新潟青陵大学大学院教授で、心理学者・カウンセラーの榎井真史さんは、大学院で教える傍ら、講演活動、執筆活動をはじめ、テレビやラジオのコメンテーターとしても活躍しています。「幸せをつかむための心理学」は新しい心理学で、幸福の実践的研究から来ているといえます。番組では、この研究から証明された「幸福が続く習慣」についてのお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

